

正の数と負の数（利用）（解答と解説）

1 解答 (1) A さん 162 cm, B さん 153 cm (2) 7 cm 高い (3) 12 cm 高い

(1) A さん $155 + (+7) = 162$ (cm)

B さん $155 + (-2) = 153$ (cm)

(2) $(+4) - (-3) = 7$ (cm)

よって、C さんは D さんより 7 cm 高い。

(3) 身長がもっとも高い人は A さん

身長がもっとも低い人は E さん

$(+7) - (-5) = 12$ (cm)

よって、身長がもっとも高い人は、もっとも低い人より 12 cm 高い。

2 解答 (1) 415 点 (2) 83 点

(1) 80 点とのちがいの合計は

$(+5) + (-3) + (+11) + (+6) + (-4) = +15$

よって、5 回の得点の合計は

$80 \times 5 + (+15) = 415$ (点)

(2) 1 回あたりの得点の平均は

$415 \div 5 = 83$ (点)

別解 (平均) = (基準の値) + (基準とのちがいの平均) だから、

求める平均は $80 + (+15) \div 5 = 83$ (点)

3 解答 (1) 54 点 (2) 56 点

(1) A, B, C の 3 人の得点の平均は 50 点で、 $\{(+11) + (-16) + (-7)\} \div 3 = -4$ であるから、E 君の得点は $50 + 4 = 54$ (点)

(2) E 君とのちがいの平均は

$\{(+11) + (-16) + (-7) + (+22) + 0\} \div 5 = +2$

よって、5 人の得点の平均は $54 + 2 = 56$ (点)